

## 第 52 回釜ヶ崎越冬闘争への協力要請

コロナ禍に翻弄された 2021 年が終わろうとしています。昨年の越冬闘争は残念ながらコロナによって取り組みの縮小を余儀なくされました。今年は昨年の縮小の無念さと、未だ先行きの見えない状況の中で細心の注意を払いながら議論・準備が展開されています。

緊急事態宣言やそれに続く各自治体の自粛規制によりインバウンドを当て込んだ経済が破たんするだけでなく、多くの倒産、失業者が生まれる事態が続いています。しかし、東京オリンピックは強行され、25 年の大阪万博を当て込んだホテル建設や道路工事などの建設ラッシュも再度活発化しています。まさに一部財界・政治家の利権のための政策だけが強行されています。

センターの建て替え問題はこうした世情の中でも着々と進み、安心して働き生活できる地域社会を造ろうとする私たち労働者とのせめぎ合いはようやく(大阪府に)8 千平米の労働施設を造らせるところまでこぎつけました。これは時代の流れに対応できなくなっていた建設日雇のみの労働施設から、高齢者でも派遣の非正規雇用労働者でも女性でも子供を抱えたひとり親家庭の方でも求職できるような施設を目指しています。

これに大阪市の所有地部分に、地域のための施設(居場所機能を含む)を造らせることができれば旧あいりん総合センターの1万平米を超える施設となることも可能となります。今後のまちづくり会議、労働者住民の大衆行動にかかっています。

こうした状況の中で今年も越冬闘争は闘われます。私たちは「釜ヶ崎へ行けば何とかなる」という想いに応え続けてきたこの街の良さ(多くの人たちの想い)＝「伝統」を守ることによって、今この街に暮らすなかまと共にこれからも流れ着くであろうなかまたちを守っていければと思います。

今年の越冬闘争も目の前でなかまたちが餓死・凍死するのを防ぐとともにこの街がすべての個人ひとりひとりにとってやさしく住みやすい街となるように人権と平和を求めてそれに反するような行政施策、国の政治を見据えながらなかまたちの団結を創り出し、声を上げていく越冬闘争になればと願っています。

これまで同様、皆様の温かいご支援をお願いいたします。

また、2021 年 12 月 28 日から 2022 年 1 月 4 日までの越冬期間中の現場でのご支援もよろしくをお願いいたします。

## ■資金で協力

越冬闘争では、毎年多額の資金が必要となります。現在も、越冬実行委員会では、資金集めに奔走しております。厳しさを増すこの経済状況にあって、心苦しい限りではありますが、釜ヶ崎の運動・取り組みに関心を寄せる多くのみなさまに、資金協力をお願いしたく思います。

【振込先】①みずほ銀行 難波支店 普通口座 1387094

釜ヶ崎実行委員会代表山田実

②ゆうちょ銀行 記号 14110 番号 33722521

【他金融機関から振り込みの場合】

③ゆうちょ銀行 418 支店 普通預金 3372252

④郵便振替口座 00960-4-108331

②③④は、名義：釜ヶ崎実行委員会

## ■物資で協力

越冬闘争では、次のような物資が必要です。みなさまのご協力をお願いいたします。

- マスク、消毒用アルコール、消毒用ティッシュなど
- 毎日の炊き出しに使う、米、もち米、お米券、調味料、野菜、その他食料
- 冬の寒さをしのぐための、寝場所、医療パトロールで使う、寝袋、衣類（成人男性用、防寒着、下着、靴下、カイロなど）
- その他、石鹸、タオルなどの日常生活用品

【物資の送付先】〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-9-7

第 52 回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会(代表 山田 実)

電話：06-6632-4273

第 52 回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会